

神様と称される手塚治虫氏。

『鉄腕アトム』や『ブラック・ジャック』など誰しもが一度は見たことのあるキャラクターの産みの親として知られる手塚治虫氏。実は自身が制作したアニメーションアートの作品で国際的な映画祭（広島国際アニメーションフェスティバル）でグランプリを受賞したり、人生の苦悩や人のネガティブな一面を鮮やかに切り取ったマンガ作品の制作など、数多くの（意外な？）一面もありました。

今回は、そんな、一般的にはあまり知られていない部分に取ってスポットをあてて、知られざる手塚治虫氏の作品の世界感をご堪能頂きます。

手塚治虫氏のことを語ったら止まらない!?

(株)手塚プロダクション

チーフプロデューサー 湯本裕幸氏



©手塚プロダクション

イベント主催者がたまたまインタビューしたご縁で出逢った手塚愛あふれる逸材。手塚マンガの魅力についてあれこれ教えてもらおうと、話の内容があまりに深く、面白いので「このトークをそのままイベントに…」と企画。当日は知られざる手塚治虫氏の意外な一面、作品制作にまつわるこぼれ話や面白話、ウラ話など、ここでしか聞けないトークを展開します。



〈司会〉
タレント
田辺 祐三子

広島を中心に音楽や踊り、芝居、司会、芸人?…もはや、何屋さんか分かりません。子供の頃には『ふしぎなメルモ』に憧れて毎日キャンディーを食べて変身した気分になったり、『リボンの騎士』に憧れて騎士の真似をして男子とチャンバラをして遊んだ思い出を持つ。痛快なトークには定評ありの司会者がキレ味鋭く、手塚治虫氏の知られざる世界についてどんどん掘っていきます。